

(9) 畦畔

- ① 維持管理労力を軽減するため、草刈機のアタッチメントを装着したトラクターが走行できる「幅広畦畔」とすることが有効である。その場合、つぶれ地が大きくなる、将来的に畦畔除去といった簡易な整備手法による区画拡大が難しくなるといった課題が生じることから、導入に当たっては農家等の意向を十分踏まえて計画する必要がある。

[資料6(9)－1 幅広畦畔の事例]

- ② 幅広畦畔の導入が困難な場合は、畦畔を走行し、無線により遠隔操作が可能な草刈機が市販化されていることから、導入機械の能力に応じた畦畔構造を検討することが望ましい。

[資料6(9)－2 無線遠隔操作の畦畔草刈機の事例]

- ③ そのほか、コンクリート畦畔の整備により、草刈り作業を軽減する手法も考えられる。農業機械とコンクリート畦畔の接触による農業機械等の破損を防ぐため、コンクリート畦畔脇に土寄せをする事例が見受けられるが、その場合、土寄せした部分の除草を行う際に機械作業が困難となるので、留意が必要である。

なお、コンクリート畦畔の場合、畦塗りが不要となるなど、畦畔位置が変動しづらいことから、土盛りの畦畔と比べて、自動走行作業において優位となる可能性があるが、将来、畦畔除去による区画拡大に支障をきたすおそれや経済性を踏まえて導入の可否を検討する必要がある。

[資料6(9)－3 コンクリート畦畔を整備した事例(和歌山県)]

[資料6(9)－4 コンクリート畦畔脇の雑草繁茂状況]

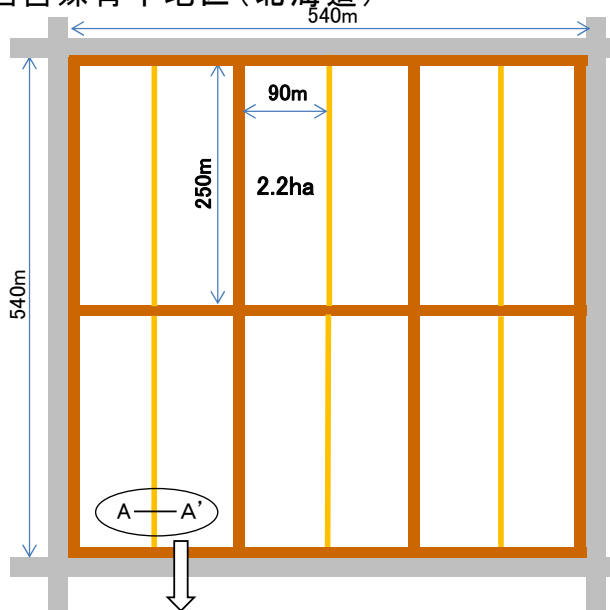
- ④ 傾斜地等の地形条件に制約がある場合、人力による草刈り作業に代えて可能な限り機械除草を導入することを見据え、機械除草に適した断面を検討する。この場合、機械の進入が可能な幅広畦畔の整備を検討することも有効である。

また、機械作業の導入が困難な場合については、防草シート、手押し式の動力草刈機等の導入についても併せて検討し、農地整備を計画することが望ましい。(第7章 傾斜地の畦畔法面等で詳述)

[資料6(9)－5 傾斜地における幅広畦畔の事例(国営旭東東神楽地区(北海道))]

○資料6(9) - 1 幅広畦畔の事例

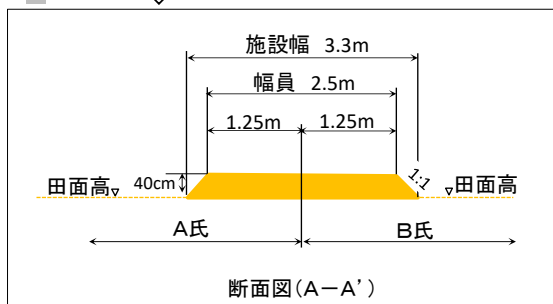
① 国営妹背牛地区(北海道)



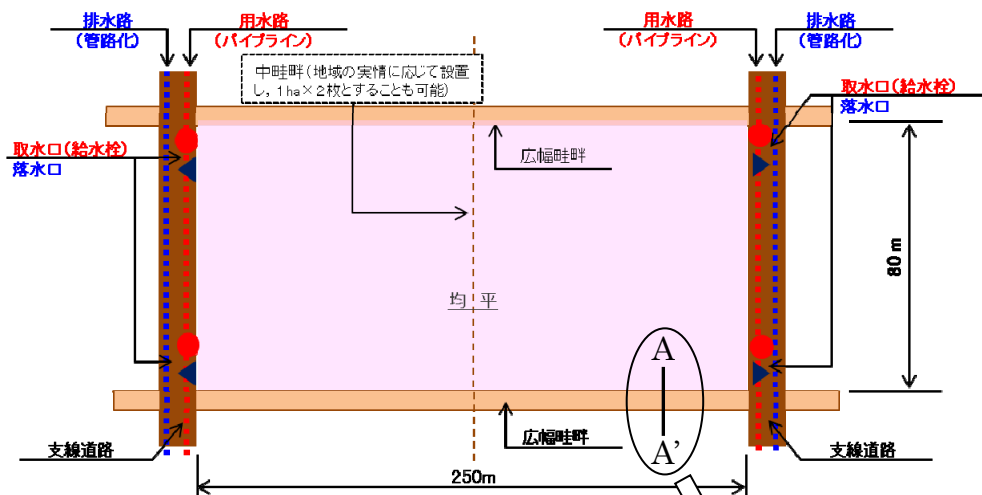
- 市町村道 (号線道路)
- 耕作道
- 幅広畦畔



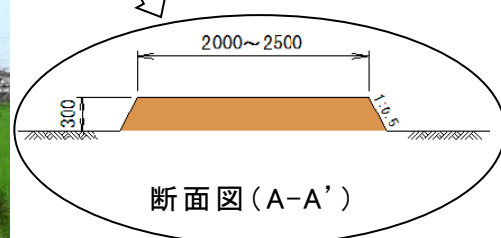
トラクターによる草刈り



② 宮城県岩沼地区



トラクターによる草刈り



断面図(A-A')

○資料6(9)－2 無線遠隔操作の畦畔草刈機の事例

水田のあぜや斜面の草刈りをリモコンの遠隔操作で 簡単・楽々・安全に草刈り作業



一定条件下のあぜ道(※1)では、あぜ道に沿った自動走行(※2)が可能です。

※1 途中で障害物が無く、比較的平坦で直線的で十分な強度を持つあぜ道(上面幅50cm以上、高さ30cm以上、斜面部分の傾斜角60°程度)。
※2 スタート、ストップの指示は行う必要があります。

資料：高機動畦畔草刈り機(株式会社ササキコーポレーション)

○資料6(9)－3 コンクリート畦畔を整備した事例(和歌山県)



○資料6(9)－4 コンクリート畦畔脇の雑草繁茂状況



コンクリート畦畔と農業機械の緩衝帯として、生産現場ではコンクリート畦畔脇に、土寄せする事例がしばしば見られる。

その場合、雑草が繁茂するが、機械除草が困難となることを留意する必要がある。

○資料6(9)－5 傾斜地における幅広畦畔の事例(国営旭東東神楽地区(北海道))

法面法尻部において、幅広畦畔及び排水処理工を整備することにより、機械除草が容易となっている。

